

グローバル新世代関連株式ファンド

追加型投信／内外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてわが国を含む世界の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年4月18日～2026年4月17日

第10期	決算日：2026年4月17日	
第10期末 (2026年4月17日)	基準価額	37,008円
	純資産総額	8,384百万円
第10期	騰落率	40.2%
	分配金合計	100円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

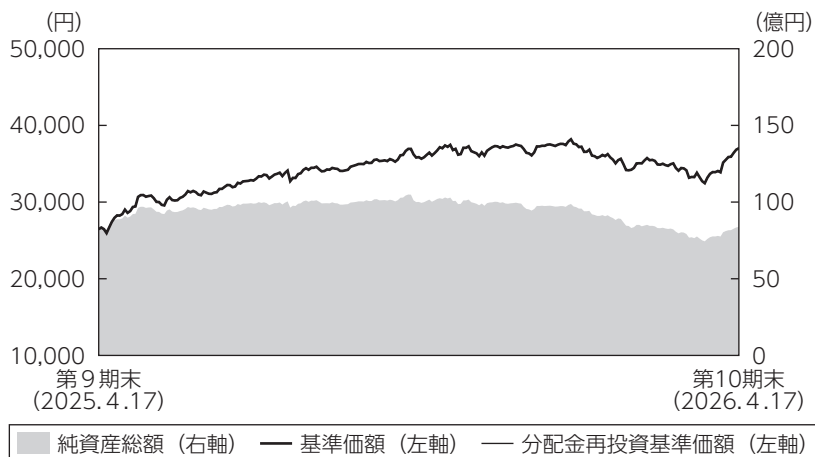
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第10期首： 26,463円
 第10期末： 37,008円
 (既払分配金100円)
 騰落率： 40.2%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、新世代（労働市場に参入し収入増加を経験している新しい世代）投資テーマの関連市場の成長の恩恵を受ける企業のうち、競争優位性及びその持続可能性、経営陣の評価に基づき選定した質の高い銘柄群の中から、株価が割安と判断される銘柄を中心に投資を行います。株式市場は、米関税政策への警戒感の後退や堅調な米国経済動向を背景に上昇し、基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第10期 (2025年4月18日 ～2026年4月17日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	660円	1.925%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は34,285円です。
(投信会社)	(377)	(1.100)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(264)	(0.770)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(19)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	16	0.047	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(16)	(0.047)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	14	0.041	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(14)	(0.041)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	34	0.098	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(30)	(0.087)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(2)	(0.007)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	724	2.111	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

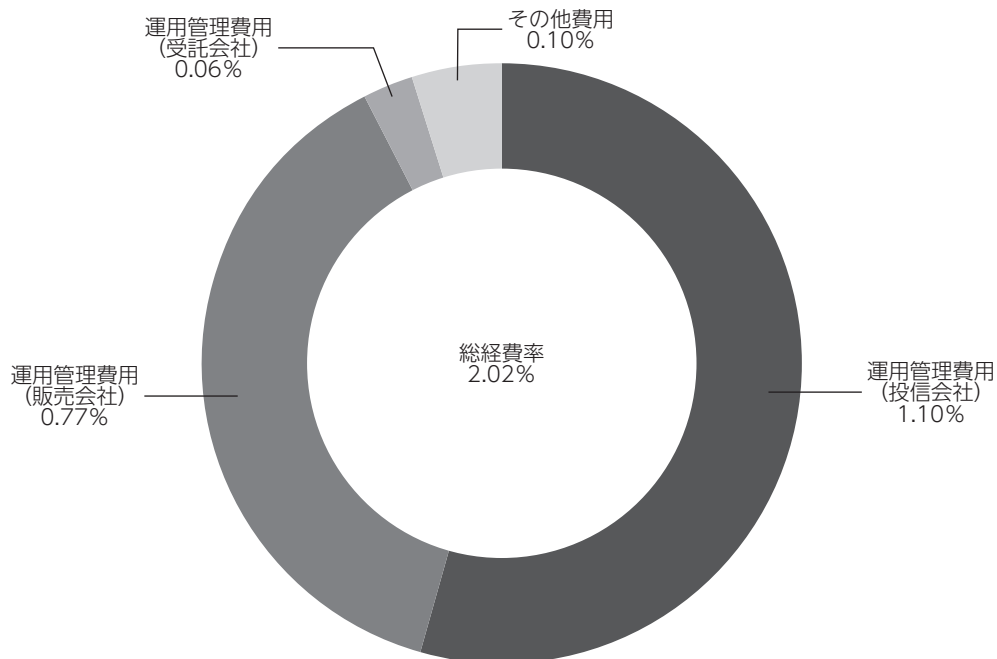
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.02%です。



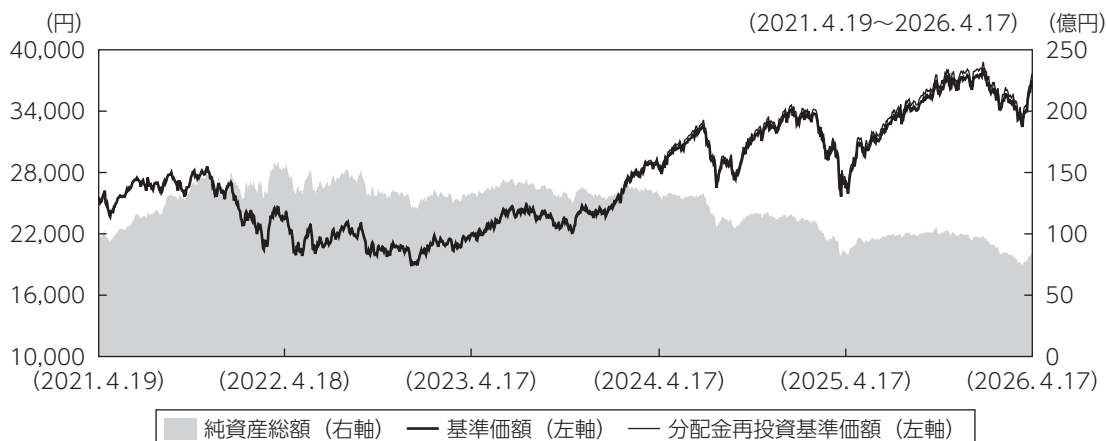
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2021年4月19日の基準価額に合わせて指数化しています。

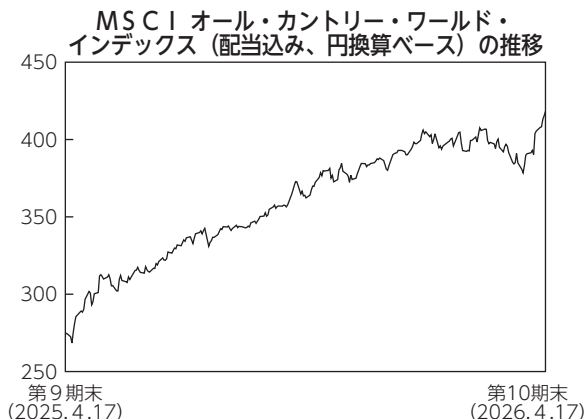
		2021年4月19日 期首	2022年4月18日 決算日	2023年4月17日 決算日	2024年4月17日 決算日	2025年4月17日 決算日	2026年4月17日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	25,593	23,455	21,882	28,357	26,463	37,008
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△8.0	△6.3	30.0	△6.3	40.2
参考指数の騰落率	(%)	—	15.9	2.1	35.1	△1.7	52.5
純資産総額	(百万円)	9,965	15,320	13,315	13,138	8,367	8,384

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はMSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) です。参考指数については後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準価額算出日前日の指数値を基準価額算出日当日の為替レート (対顧客電信売買相場仲値) で円換算しております (以下同じ)。

投資環境

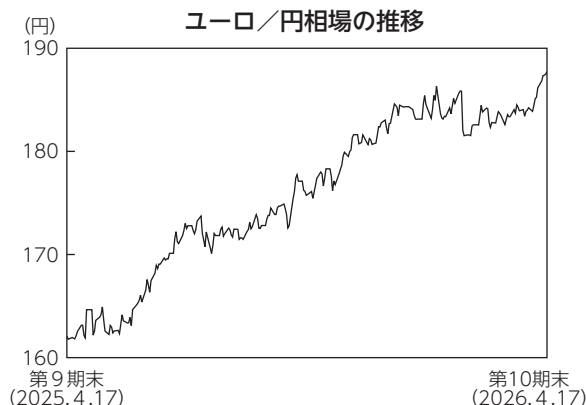
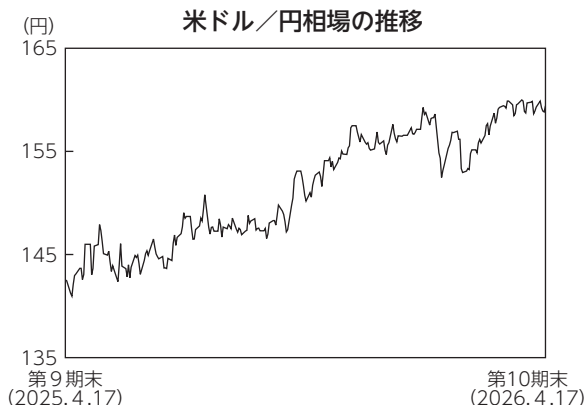
● グローバル株式市場

グローバル株式市場は、米国の関税政策を巡る不透明感が重石となりましたが、各国の通商交渉の進展や米国の堅調な経済動向に加え、F R B（米連邦準備理事会）による利下げ期待などを背景に上昇しました。2025年11月頃からはA I 関連株式に対する過熱感が意識され、年明け以降は中東情勢を含む地政学リスクの高まりが一時的な下落要因となったものの、好調な企業業績や地政学リスク緩和への期待などを背景に期末にかけて再び上昇に転じました。



● 為替市場

為替市場では、円が米ドルなど主要通貨に対して下落しました。2025年夏頃までは、米国のインフレや米中貿易摩擦への懸念が後退し、緩やかな円安ドル高の展開となりました。2025年後半は、日本の積極財政への警戒感や米国経済の強さを背景に、円安ドル高が加速しました。年明け以降は、為替介入が意識され円高が進む場面もありましたが、イラン情勢の緊迫化に伴う有事の米ドル買いやF R Bによる利下げ期待の後退などを受け、円安ドル高基調となりました。

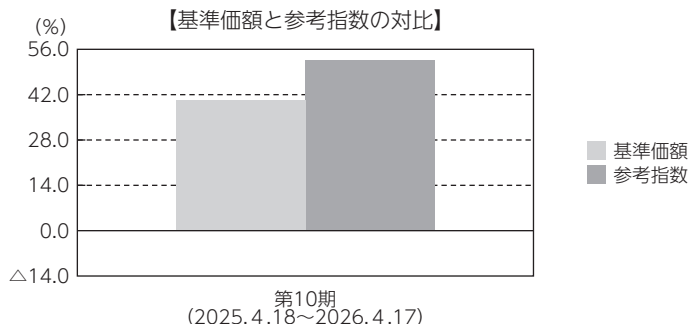


ポートフォリオについて

業種別では、コンピュータやインターネットが日常的にある環境で育った新世代の特徴に着目し、この世代による利用拡大の恩恵を受けるコミュニケーション・サービスや情報技術、及び堅実な消費や健康・レジャー志向の消費の恩恵を受ける一般消費財・サービスに関連する銘柄が大きな割合を占めました。個別銘柄では、米国の半導体メーカーのブロードコムへの新規投資や、米国のワイヤレスネットワーク会社のTモバイルUSの全売却などを行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年4月18日 ～2026年4月17日
当期分配金（税引前）	100円
対基準価額比率	0.27%
当期の収益	100円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	27,007円

- （注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- （注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- （注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

グローバル株式市場は、主要中央銀行の金融政策や地政学リスクなど、様々な不透明要因を抱えています。一方、世界経済の基調は底堅さを維持しており、新世代の消費行動やデジタル化の進展を背景とした構造的な成長領域には、引き続き魅力的な投資機会が存在すると考えています。当戦略においては、引き続き、投資方針に基づき、ボトムアップの銘柄選択により、先行きのファンダメンタルズが良好でバリュエーションが魅力的な銘柄に投資していきます。

お知らせ

約款変更のお知らせ

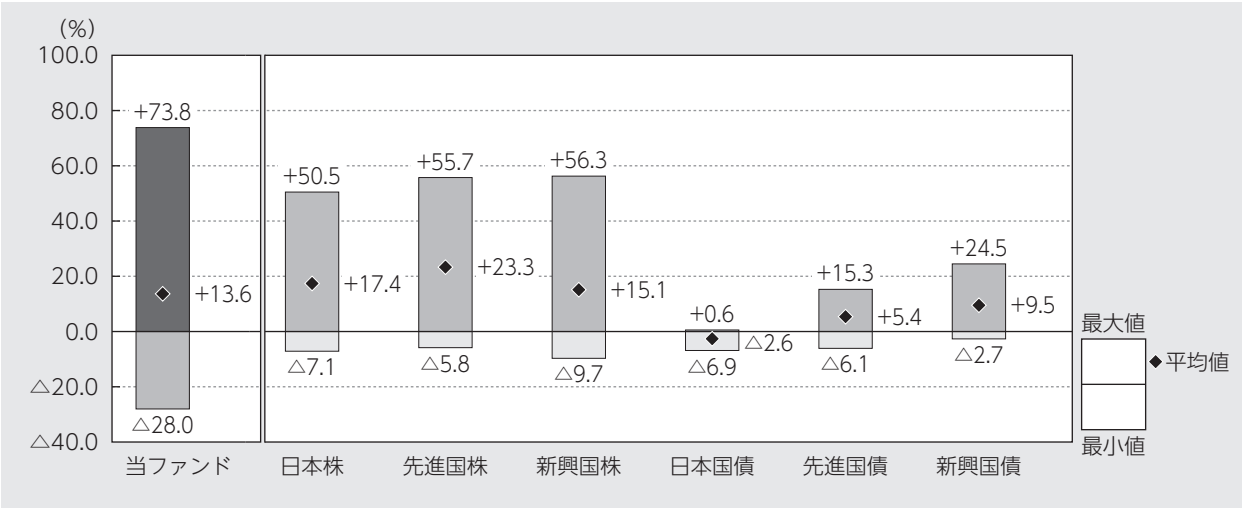
■「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

(2026年4月1日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	2016年4月18日から2046年4月17日まで。
運 用 方 針	投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国を含む世界の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）。
運 用 方 法	主としてわが国を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。また、預託証書、上場投資信託証券に投資することがあります。 ポートフォリオの構築にあたっては、新世代投資テーマの関連市場の成長の恩恵を受ける企業のうち、競争優位性およびその持続可能性、経営陣の質の評価に基づき選定した質の高い銘柄群の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を中心に投資を行います。 株式等の運用指図に係る権限をゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピーに委託します。
分 配 方 針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年4月～2026年3月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2026年4月17日現在）

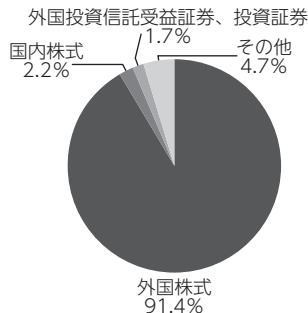
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	8.5%
APPLE INC	アメリカ・ドル	7.8
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	6.0
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	5.8
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	5.4
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	4.4
ADVANCED MICRO DEVICES	アメリカ・ドル	3.1
ELI LILLY & CO	アメリカ・ドル	3.1
NETFLIX INC	アメリカ・ドル	2.5
MASTERCARD INC	アメリカ・ドル	2.4
組入銘柄数	50銘柄	

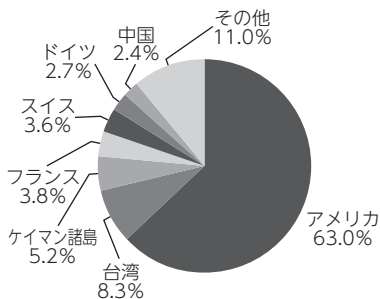
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

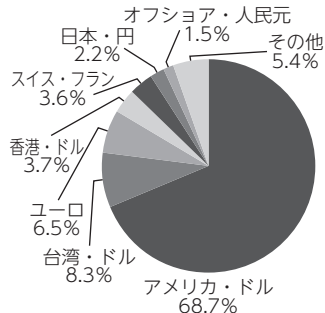
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

（注4）上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

純資産等

項目	当期末
	2026年4月17日
純資産総額	8,384,856,278円
受益権総口数	2,265,699,780口
1万口当たり基準価額	37,008円

（注）当期中における追加設定元本額は28,885,941円、同解約元本額は925,050,558円です。

<当ファンドの参考指数について>

●MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）はMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックスをアセットマネジメントOneが円換算したものです。

MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。

- 「MSCI コクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- 「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- 「NOMURA-BPI 国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

- 「FTSE 世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。